

2026 年 IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞の公募

IAP 日本支部 病理診断学術奨励賞選考委員会

委員長 羽賀博典

IAP 日本支部では、診断病理学分野における優れた研究を奨励することを目的として、下記の要領により 2026 年 IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞の候補者を公募いたします。

記

1. 賞の名称：

IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞

2. 応募資格：

日本の医療機関に勤務する若手病理医（論文掲載時 40 歳未満）とします。

IAP 日本支部の会員であるかどうかは問いませんが、会員であることが望まれます。

3. 選考対象：

2025 年 1 月から 12 月までの期間に学術雑誌に掲載された、診断病理分野における優れた英文論文 1 編とします（オンライン先行公開[Epub]のみの期間は含みません）。

筆頭著者であることを原則とします。

留学先ではなく日本国内で実施された研究に基づく論文に限ります。

4. 受賞者数：

3 名以内

5. 賞の内容：

賞状と副賞（トロフィー）

応募方法

原則として他薦としますが、自薦も可能です。

申請時に必要な書類（すべて PDF ファイルとしてください）：

1. 応募者の履歴書（厚生労働省履歴書様式）

2. 推薦書（推薦人がいる場合）または応募理由書（推薦人がいない場合）

2 ページ以内とし、書式は問いません。

3. 論文1編（カラー）

上記の1～3の書類を、下記のメールアドレスまで送付してください。

送付先：Email: pathology@kuhp.kyoto-u.ac.jp

「IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞」選考委員会
委員長 羽賀博典 宛

応募締切：

2026年8月31日

選考方法・発表方法・受賞者への支援について

選考は IAP 日本支部 病理診断学術奨励賞選考委員会（日本病理学会および日本臨床細胞学会からの外部委員を含みます）が行います。

受賞者は IAP 日本支部の News Bulletin に掲載されます。

また、受賞者には IAP 日本支部が支援する日台交流事業

（台湾病理学会でのポスター発表）への参加を依頼します。

なお、台湾病理学会への参加に際して、台湾側より渡航費の補助が支給されます。